

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 6 年 2 月 29 日

1 団体の名前

ふりがな	りあん
団体の名前	Lien

2 活動のテーマ

異文化交流を通して英語の楽しさを知ろう

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
7月	開催施設へのアポ取り・開催施設の予約・協力者への依頼・ALTの募集・学校施設（ランチルーム）の予約と協力者とALTへの依頼・イベント内容とプログラムの検討（内容、タイムスケジュール、参加者の規模、必要なスタッフの人数など）
8月	イベント内容の検討。オープンスクール用のチラシ作成・配布
9月	チラシ配布:地域の小学生に呼びかけるチラシを作成し、配布する。龍馬学園さんとのミーティング
10月	龍馬学園さんやALTの先生、ボランティアをしてくれる学生とのミーティング 10/22 自主企画イベント「えいごであそぼ」開催
11月	地域のイベント(こうちこども未来ビレッジ)に向けた準備
12月	12/3 地域のイベントに参加(こうちこども未来ビレッジ)
1～2月	報告書の作成

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうに良くなったと思うか書いてください。

<感想>
活動を通して、イベントのスケジュールの調整・当日の内容や流れなど様々な場面で計画する必要があったため、計画性が身についたと考えます。イベントの計画から運営までを経験してみて、メンバー全員で何度も打ち合わせを行い、イベント開催まで内容の変更を何度も行ってきて、改めてイベントを開催することの大変さを知りました。イベント対象者にあつた内容かなどと話し合い、メンバーと協力して一生懸命活動してきたので、イベント当日に来場者が楽しむ姿やイベント後のアンケートで「すごくよかった」という感想をみたとき嬉しさと達成感を感じました。また、イベントを開催するにあたって大事なことは、自分の中でなぜイベントを開催したいのかという目的を明確にして熱意をもって取り組むことだと学びました。この経験をこれからの様々な活動に活かしていきたいです。

<まちが良くなったと思うこと>

Lienの活動で「えいごであそぼ」を開催したことで、地域の小学生たちが留学生と交流する機会を作れたという点で地域交流の場をつくることに貢献できたと思う。また、留学生と英語を使って交流することで、日常生活の中で使う機会の少ない英語にふれ、英語を話すことの楽しさを感じることでこれからの学校生活で英語を学ぶことや異文化を知ることにより意欲的になるための手助けができたのではないかと思います。

5 気づきポイント

活動を通して気づいたことや工夫したこと、反省点などがあれば書いてください。

<活動前にたてた目標や計画通りにできなかったところ>

①当日の予定と本番でのハプニング

活動前は、計画として当日の音響はもともとランチルームに準備されてあるものを使う、ということになっていた。しかし当日になるとランチルーム音響との接続が悪く接続できなかったため、体育館で授業中に使用しているスピーカーを1人が走ってとりに行って使用することになった。当然その間はメンバーが1人足りない状態になってメンバー内で割り振っていた担当分けだけではなく、できる人だけでそれ以上に周りも見なければいけなくなった。

②メンバーの役割分担

メンバー内で役割分担を決める場面があっても、全員が積極的に手を挙げるわけではなかったり、ちゃんと内容を把握しているメンバーが少なかったことからメンバー内での役割分担に偏りが見られて、自分たちのスタート当初の予定の綺麗な配分ができなかった。これによって1人の配分量が多くなって不満も大きくなるのでメンバー間での空気感に影響したり、メンバー同士のミーティングの際に、把握している人としていない人がいることでうまく場がまとまらず、何度もつまづいた。

<なんでできなかったのか、何につまづいたのか>

①について

自分たちのもともとの予定から崩れることをはじめから意識して計画は立てていたものの、もっとさまざまな状況が起こりうることを想定して解決策を準備していなかったため、今回のようなハプニングに繋がったと思う。

②メンバー間での把握内容の差や理解している項目に差が生まれたことによってつまづきが発生して、空気感の良し悪しや役割分担の偏りに繋がっていった

<つまづいたとき、活動を進めていくためにどんな工夫をしたか、または、どうすればよかったと思うか>

計画通りにいかなかったり予想していなかったハプニングが起きた時、私たちは問題の原因を特定してそれに対処することを第一に考えて取り組めた。また、他のメンバーに助けを求めて、一緒に協力するという工夫も行なった。これらを踏まえた上で、つまづいた問題を別の視点からみたり、問題を解決するための新しいアプローチを考えるとよりスムーズに進むと考えた。

6 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

今回実施したイベントでは、小学校の高学年を対象に英語教育促進活動を行った。そのため、自分たちが影響を与えられる対象が小学校高学年という局部的なものになっているため、社会への貢献度が低めであると考え。そのため、この活動をもし続けていくのならば、今回の活動を通して得た学びや知識、経験を活かして、イベントの対象の幅を広げたものを開催したり、より地域共生型として、世代を自由に設定したイベントなどが展望として考えられる。今回イベントの企画・運営に携わっていただいた高知龍馬学園の日本語学科の留学生の方々との活動に関しても展望が見込まれる。参加していただいた留学生の方の出身国には偏りがあったため、よりバリエーションに富んだ国のネイティブの方を集めることでイベント参加者にはより自分たちの求めているような質のイベントが提供できると感じた。

7 活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください♪



令和5年度決算報告書

	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
収入	ファンド助成金	200,000 円	137,725 円	
			円	
			円	
	合計	200,000 円	137,725 円	

	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
支出	チラシ代	10,163 円	17,592 円	A4300部3,446円【①】 A4追加2500部7,290円+A2ポスター5部5,570円 +消費税=14,146円【②】
	食材費	35,000 円	0 円	
	スタッフTシャツ	7,000 円	6,940 円	@990円×7人+袋10円【③】
	イベント費用	80,000 円	75,245 円	・ピニャータ10個 11,760円+50,040円=61,800円【④・⑤】 ・バット5本 6,850円【⑥】 ・アイマスク10枚 740円【⑦】 ・リストバンド・飾り付1,628円+3,637円=5,265円 【⑧・⑨】 ・クレヨン代590円【⑩】
	謝礼金	40,000 円	20,000 円	龍馬デザイン・ビューティー専門学校
	お菓子代	15,000 円	15,932 円	・チョコ 1,000円【⑫】 ・キャンディ 1,680円【⑬】 ・チョコマシュマロ 3,360円【⑭】 ・お菓子 4,984円+4,908円=9,892円【⑮・⑯】
	雑費	12,837 円	2,016 円	当日参加者の傷害保険代【⑰】
	合計	200,000 円	137,725 円	